

# 周防大島町地域公共交通計画 策定の流れ

令和4年7月



株式会社バイタルリード



## (2) 公共交通の現状整理

### ① 公共交通の現状整理

- 市内で運行する各移動手段について、運行状況や利用状況、収支等の状況を GIS や表、グラフで整理する。
- 主な移動手段では、現状が一目で分かるカルテを作成する。

### ② 路線バスの OD データ整理

- 交通事業者より最新の OD データの提供を受け、利用状況(各路線の区間別通過人数等)を分析し、カルテへ反映させる。

### ③ 町営バス、乗合タクシーの乗降調査の計画・実施・とりまとめ

- OD データのない町営バス、乗合タクシーについて、乗降調査を実施する。
- 平日・休日各1日、調査を行う。(調査日：7月14日/16日)

## (3) 目指すまちづくりの方向性の整理

- 総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略など、各分野の関連計画が目指すまちづくりの方向性を整理・分析する。
- 都市計画や教育、福祉等、公共交通との連携が期待できる分野では、相乗効果が見込める取組が無いかを精査する。

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通との連携に関する課題、今後の方向性</li> <li>・短期的に連携できそうな事業の有無、意向を把握</li> </ul>
質問事項(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に期待する事項</li> <li>・施策の方向性、課題となっている事項</li> <li>・連携できそうな事業の有無、実施状況、連携意向</li> </ul>
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上位関連計画の整理結果を踏まえ、ヒアリングシートを作成</li> <li>・ヒアリングを実施し、結果を整理</li> </ul>

分野	ヒアリング先	ヒアリング分野
総合	政策企画課	地域振興対策、DX、離島航路
	空家定住対策課	移住・定住対策、移住者の声
保健福祉	福祉課・健康増進課	高齢者福祉、健康増進
	病院事業局	病院送迎バス
都市計画	施設整備課	都市計画、道路・港湾事業等
商業	商工観光課	商業、観光
観光		
教育	教育委員会総務課	学校運営、スクールバス

※必要に応じて関係する団体(社会福祉協議会、病院、観光協会等)も同席

### ▲ 庁内関係部署へのヒアリング

#### (4) 移動実態や公共交通に対するニーズ等の把握

##### ① 町民アンケート調査

町民全員を対象としたアンケート調査(2,000世帯)を実施する。なお、諸島部にお住まいの方向けには、全世帯を対象としたアンケート調査を実施する。

ねらい	統計データで把握しきれない、町民の移動実態や移動の問題点・ニーズの把握
配布方法	追記予定
回収方法	郵送回収(ウェブ回答も可とすることを検討)
調査票案	資料2、資料3

##### ② 高校生アンケート調査

町内の高校に通う高校生及び町内から町外へ通学する高校生が多く通う高校を数校ピックアップし、学校を経由して高校2年生を対象としたアンケート調査を実施する。

ねらい	高校生等の通学における問題点やニーズの把握
対象者	町内の高校・高専、町内から町外に通学する高校生が多く通う高校の2年生、大島看護専門学校の全学生
配布方法	学校から担任を通じて生徒へ配布
回収方法	生徒から担任へ提出し回収
調査票案	資料4

##### ③ 意見交換会の計画・実施・とりまとめ

町内4地区で各1回の意見交換会を計画・実施し、結果のとりまとめを行う。

ねらい	アンケート結果及び各種調査結果からみえる問題点やニーズの深堀り
プログラム(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に係る各種調査結果について(報告)</li> <li>・周防大島町の公共交通に関する問題点について(報告)</li> <li>・問題点、ニーズの具体的な内容について(意見交換)</li> <li>※おおむね1時間半程度を想定(午前・午後の2回×2日)</li> <li>※計画策定後も定期的に交通を議論する場として活用することを提案する。</li> </ul>
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内4地区で各1回(場所:公民館を想定)実施する。</li> <li>・参加者例:自治会連絡協議会、民生委員、公民館職員</li> </ul>

#### ④ 交通事業者ヒアリング

交通サービスを提供する交通事業者に対してヒアリングを行い、サービス供給側が把握する問題点、課題、改善ニーズ等を把握する。

ねらい	統計データ等のみでは知りえない、事業者として感じている運行に関する問題点や課題、今後の事業意向等を把握
質問事項(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行に関する問題点、課題</li> <li>・連携方策についてのアイデア、意向</li> <li>・計画に位置付ける事業内容についての意向</li> </ul>
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の現況、乗降調査等の整理結果を踏まえ、ヒアリングシートを作成</li> <li>・ヒアリングを実施し、結果を整理</li> </ul>

分野	ヒアリング先
路線バス	防長交通
スクールバス	教育委員会総務課
病院送迎バス	病院事業局、(可能であれば)民間医療機関
乗合タクシー	大島観光タクシー
タクシー	東和タクシー、大島観光タクシー、栄幸タクシー、サザンセット交通
航路	町営渡船・行政連絡船：政策企画課 フェリー：防予フェリー
(温泉送迎バス)	(可能であれば)温泉施設

#### ▲ 交通事業者へのヒアリング

#### (5) 公共交通網の問題点・課題の整理

- 各種調査の結果を踏まえ、現状・問題点や課題を整理する。

#### (6) 基本方針・目標の検討

- 現状・問題点や課題、周防大島町のまちづくりの方向性を踏まえ、基本理念や基本方針、目標を検討・設定する。
- 目標値の設定にあたっては、地域公共交通計画の趣旨を踏まえ、可能な限り定量的な指標を設定するとともに、算出方法や対象、目標値の考え方も明示する。
- 行政支出額や収支率、利用者数等の定期的に取得するデータのほか、比較的取得が容易な項目を中心に目標設定する。
- 地域公共交通の評価方法の1つであるクロスセクター効果の算出も行う。

#### (7) 計画に位置付ける事業の検討

事業内容や実施主体、スケジュール、資金調達方法等を整理する。

(8) 計画書、報告書のとりまとめ

- 各種調査分析結果や問題点・課題等を踏まえ、計画素案を整理する。
- 計画素案の作成にあたっては、町民の皆様にも分かりやすい計画となるよう、専門用語に用語解説を付記するほか、図や表、写真を活用し、デザイン性に配慮し、配色や文字フォント等をユニバーサルデザインに対応する。

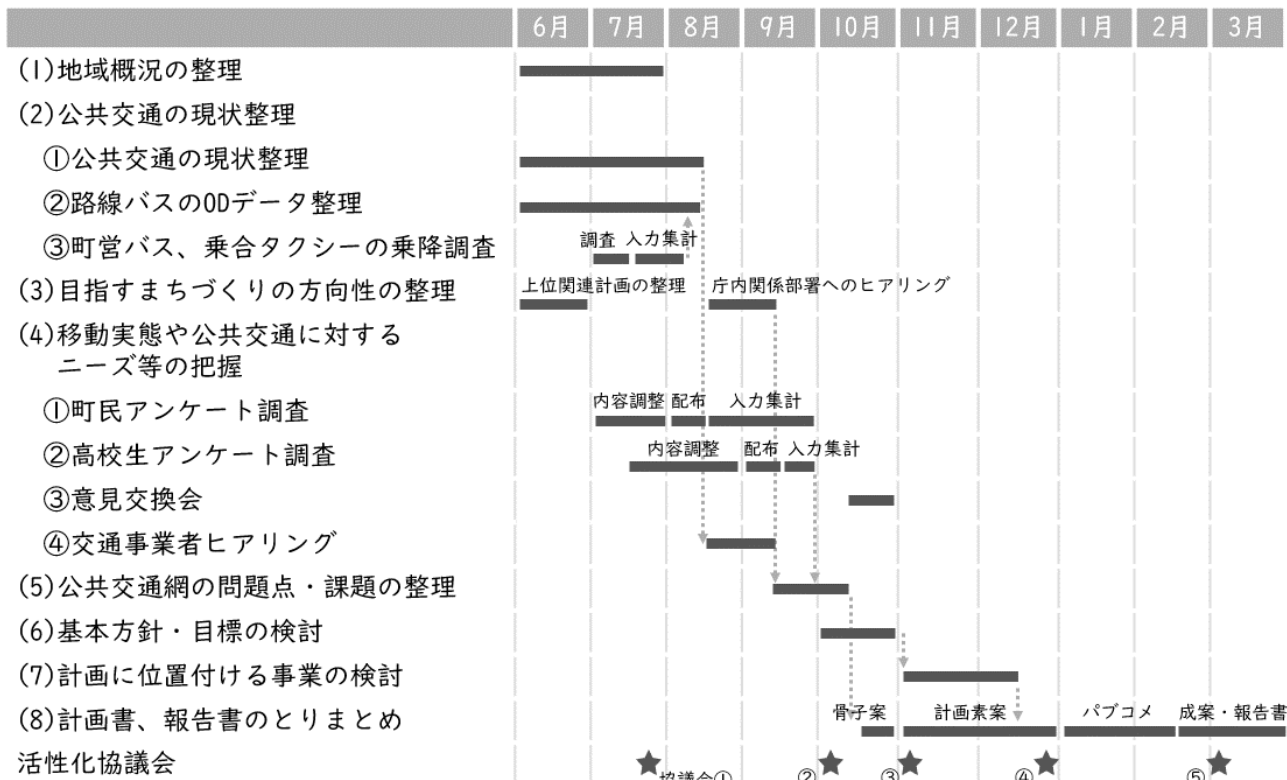
第1章	はじめに	第2章	周防大島町の現況	第3章	周防大島町のまちづくりの方向性	
第4章	周防大島町の公共交通の現状		第5章	周防大島町の公共交通に関するニーズ		
第6章	第7章			第8章		第9章
周防大島町の公共交通に関する現状・問題点・課題	周防大島町の公共交通に関する基本方針			取り組む事業		評価
	・基本理念	・基本方針	・計画目標	・事業内容	・実施主体	・評価方法
	・評価指標	・補助路線の位置づけ		・スケジュール	・資金調達	・評価工程

※の内容は必要に応じて資料編に掲載することも検討

▲ 計画の目次構成(案)

- 令和5年1月中旬～2月中旬ごろのパブリックコメントを想定する。
- 意見交換会参加者へパブリックコメントの実施をご案内し、積極的な意見提出を依頼する。
- 

2. 業務実施スケジュール



▲業務実施スケジュール